

大淀中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



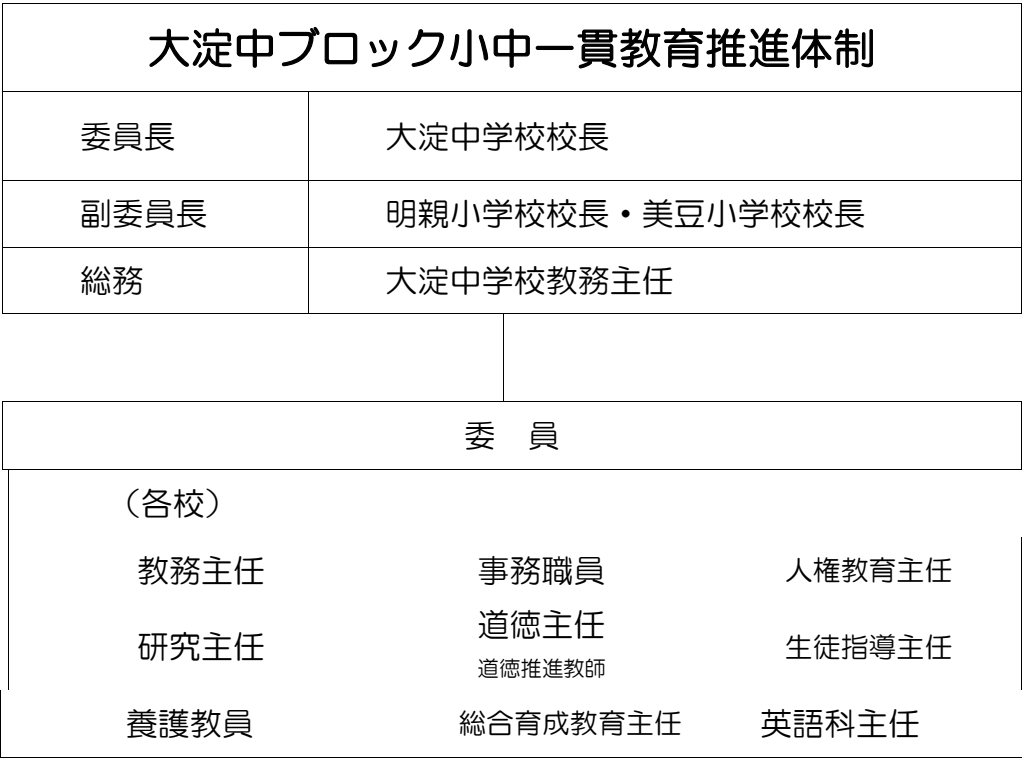
| | | | | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 義務教育卒業時につけたい力 学力向上（家庭学習の定着） ○生涯にわたって、学び続ける力 ○自ら学び、考える力 | | | | | | | | |
| 学年または学年区分ごとにめざす姿 <div> <div>← わかる・できる・たのしい →</div> <div>← 集中する ・ 続ける →</div> <div>← 集中する ・ 考える ・ 粘り強く続ける。 →</div> </div> | | | | | | | | |
| 小１（１年） | 小２（２年） | 小３（３年） | 小４（４年） | 小５（５年） | 小６（６年） | 中１（７年） | 中２（８年） | 中３（９年） |
| 取組・活動 <div> <div>＜明親・美豆小学校の取組＞</div> <div>＜大淀中学校の取組＞</div> </div> <div> <div>家庭学習</div> <div>教科書を読む。</div> <div>音読（全員に同じ課題を与え、家の人に聞いてもらいサインをもらう。）</div> <div>終末課題・教科の課題</div> <div> ○国語・算数の練習プリント ○計算ドリル ○漢字ドリル（漢字学習） ○問題集 ○ノートの不備を整える。 ○日記 ○自主学習ノート ・言葉集め ・文作り ・漢字 ・計算 ・その日の学習の復習 ・新出の語句，用語，単語を調べる。・教科書の例題を解く。 ・視写 ・読書感想文 ・意味調べ ・各教科のまとめ ・テスト勉強 ・予習 </div> </div> <div> <div>読書</div> <div>手元に本を置き毎日読む。</div> <div>好きな本を読む</div> <div>いろいろな本を選んで読む。</div> <div>いろいろなジャンルの本を読み視野を広げる。</div> <div>新聞を読む。</div> </div> <div> <div>家庭学習の時間</div> <div>毎日決めた時間に自分から</div> <div>○15分位でできる内容</div> <div>○30分位でできる内容</div> <div>○45分位でできる内容</div> <div>○1時間位でできる内容</div> <div>○1時間15分位でできる内容</div> <div>○1時間30分位でできる内容</div> <div>○2時間位でできる内容</div> <div>○2時間位でできる内容</div> <div>○受験対策問題をする。 ○2時間くらいでできる内容 （部活引退後は3時間）</div> </div> | | | | | | | | |
| ＜中学校ブロックとしての取組＞ ○家庭学習の内容が、宿題から児童生徒の興味・関心に基づく自主学習へと移行していくよう、意図的・計画的に宿題を出す。 ○授業と家庭学習をつなぐ工夫をする。 ・学習の楽しさを実感できる魅力ある授業を展開する。 ・個に応じて学習の方法を具体的に指導する。 ・授業に関連する課題を工夫し、予習・復習をさせる。 ・家庭学習のねらいを分かりやすく示す。 ・努力を認め、学習の成果を実感させる。 ○宿題をきっかけに家庭学習の習慣化を図る。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------|-------------------------------|--|--|---------------------------------|--|---|---|--------|--|---|--|--------|--|--------|--|
| 義務教育卒業時につきたい力 | | | | | | | | | 自尊感情の醸成（自己肯定感・自己有用感の育成） | | | | | | | | |
| ○人間としての在り方・生き方を踏まえ、自らの個性・適正を伸ばしながら、生き方について考え主体的な選択と進路の決定ができる力 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○他者の善意や支えへの感謝の気持ちと、それに応える力 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○社会の一員としての自覚を持った行動ができる力 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学年または学年区分ごとにめざす姿 | | | 小集団や学級の中で、自分の特徴や自分ができに気づける子ども | | | 集団の中で、自分の特徴を知り、自分の役割や存在感を感じる子ども | | | 多様な考え方の受容と、自分の個性の価値を理解し、社会生活における適正を確認できる子ども | | | | | | | | |
| 小1（1年） | | 小2（2年） | | 小3（3年） | | 小4（4年） | | 小5（5年） | | 小6（6年） | | 中1（7年） | | 中2（8年） | | 中3（9年） | |
| 取組・活動 | | | | | | | | | | | | ＜大淀中学校の取組＞ | | | | | |
| ＜明親・美豆小学校の取組＞ | | | | | | | | | | | | ○本校への誇り・愛校心の象徴としての校歌斉唱を推奨する。 ○自己存在感育成のひとつとして、朝学活における生徒呼名（健康観察を兼ねて実施）と、入学式における生徒呼名（H29年度より）を実施する。 ○自己有用感育成に向け、ボランティア活動の募集（校内・地域）を行う。 ○自己肯定感育成に向け、各学級・学年に応じた「いいところ探し」の取組を展開する。 | | | | | |
| ○自分の好きなこと、得意なことやできることを増やし、さまざまな活動に意欲と自信をもって取り組ませる。 ○成功体験により、達成感や学習意欲を向上させる。 ○よかったこと見つけ | | | | ○友だちの良さを認め、協力して活動する中で、自分らしさや役割を自覚させる。 ○成功体験により、達成感や学習意欲を向上させる。 ○きらり見つけ | | | | ○苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れずに取り組み、継続し、やり遂げることで集団の中での自己有用感・自尊感情を、各行事を通して育てる。 ○今日のスター | | | | | | | | | |
| ＜中学校ブロックとしての取組＞ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○毎朝学活時の呼名（自己存在感・自己肯定感の育成）→ 自尊感情の醸成 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○年間を通した三校での挨拶運動の実施（・統一したポスターを校内・地域に掲示 ・小中が時期を同じにした挨拶キャンペーンの展開） | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○児童・生徒の発達段階に応じた「いいところ探し」を、各学級・学年・学校の実情に応じて取り組む（自己肯定感・自己有用感の育成）→ 自尊感情の醸成 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

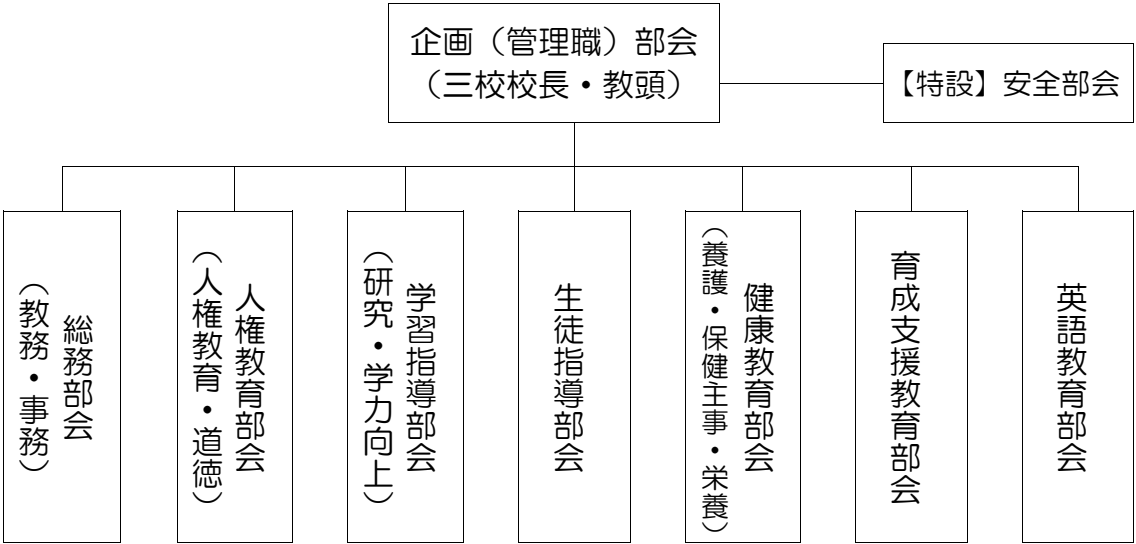
小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等，小中一貫教育を推進する体制を記載してください。

大淀中 小中一貫教育推進体制・推進部会



小中一貫教育推進部会



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

- ・三校が学校だよりと HP において，大淀中学校ブロックが9年間を通して取り組む「軸となる取組・活動」について掲載し，家庭や地域の理解と協力を呼びかける。
＊学校だよりは地域への回覧を実施している。
- ・小学校の学校運営協議会と中学校の学校評議員会において，上記の「軸となる取組・活動」を周知し，理解と協力を求めると共に，地域や PTA が連携できることを模索する。
- ・各校の学校評価アンケートにおいて，「軸となる取組・活動」に関する統一したアンケート項目を再考する。
- ・「大淀中学校ブロック小中一貫教育だより」の発行を検討する。